

新潟市の農林水産業

平成29年4月

新潟市農林水産部

はじめに

近年、国内の農業を取り巻く状況は、農産物価格の下落や農業者の高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加など大変厳しい状況にあります。国内の食市場においては、少子高齢化の進行や人口減少の本格化により縮小に向かう一方、世界の食市場は人口増加や経済成長に伴い拡大が続くことが見込まれます。

新潟市は、市町村として日本一の水田面積を誇る全国有数の大農業都市です。市内各地では、コシヒカリなどの米をはじめ、さまざまな野菜、果樹、花きなど全国に誇れる魅力的な農産物が生産され、米菓、酒、発酵食品といった食品関連産業も大きく発展しています。

本市の最も重要な農産物である米については、これまでの生産調整が見直され、平成30年産米からは生産者や集荷業者・団体が自らの経営判断で米の需給調整に取り組むこととされましたが、現場からは不安の声も多く、新潟県から「平成30年産の新潟米の県全体の生産目標の市町村別内訳」が示されることになりました。本市農業にとって大きな転換期を迎えており、ますます農業者・生産者団体・行政が一体となって対応していくことが重要です。

こうした中、国家戦略特区の指定を受けた本市では、規制緩和を活用した企業が特例農業法人を設立して営農しているほか、全国で初めて地元産の農産物を提供する農家レストランが3店舗開業するなど、全国に先駆けたモデル的な農業や新たな形の地産地消の取組が進められています。また、特区の規制緩和は利用していませんが、ICT農業のような新しい形の農業に取り組む企業が新潟市の農家と協力を始めており、こうした新しい農業が本市の農業を活性化することを期待しています。さらに農業の6次産業化に加え、子育てや教育、福祉などの分野で本市の豊富で多様な田園資源をフル活用して連携させる、農業の12次産業化を進めるとともに、食と農と文化を融合させる食文化創造都市の推進に向けて、ガストロノミー（食文化）をグリーンツーリズムにも活かす取組として、レストランバスの運行や、生産者と料理人の結びつきを深める活動も行い、本市の食の素晴らしさや食文化を活用したまちづくりを進めることで、「食と花の都」新潟市の実現に向けて取り組んでまいります。

農産物の販路については、産地間競争が激しさを増す中、農産物の販路を拡大する取組として、地産地消、地産外商、輸出体制の整備を充実させるとともに、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会では、選手村等で組織委員会が提供する飲食サービスに使用される農産物等はGAP（農業生産工程管理）認証等の取得が必要になることから、本市でも農業者がこうした管理法を取り入れ、安全な農産物を安定的に供給できるよう支援していきます。

本市の水産業は、沿岸・沖合漁業とともに、信濃川、阿賀野川等での鮭漁や種苗生産などの内水面漁業も意欲的に取り組まれています。今後も水産物と漁業の魅力の活用を積極的に進め、漁港や水産施設の整備など漁業基盤の整備を推進してまいります。

「新潟市の農林水産業」は、本市の農林水産業の現状と様々な取組を整理しました。本市の農林水産業をご理解いただく基礎資料等としてご活用いただければ幸いです。

最後に本冊子の発行に当たり、御協力くださった関係各位に厚く御礼申し上げます。

平成29年4月

新潟市農林水産部長 村上徹也

目 次

はじめに

第1章 新潟市の概要

1	市勢概要	1
2	気候	2
3	市域の変遷と人口の推移	2
4	沿革	3
5	産業別人口	5

第2章 行財政

1	予算	
(1)	平成29年度一般会計予算	6
(2)	平成29年度農林水産業費内訳	7
(3)	平成29年度施策展開方向	8
2	農林水産関係機構図及び事務分掌	9
3	にいがた未来ビジョン	12

第3章 新潟市の農業

1	新潟市農業構想の概要	
(1)	新潟市農業構想策定の趣旨	13
(2)	構想の期間	13
(3)	農業・農村の将来像	13
(4)	構想の目標	14
2	統計から見た新潟市農業の概要	
(1)	農業経営	15
(2)	主な農業生産物	15
(3)	主な畜産物	16
(4)	専兼別農家戸数（総農家）	16
(5)	経営耕地面積規模別農家戸数（販売農家）	16
(6)	年齢別農業就業人口（販売農家）	17
3	農業生産等の概況	
(1)	水稻	18
(2)	大豆	19
(3)	野菜	20
(4)	切花・球根・花木類	20
(5)	果樹	21
(6)	葉たばこ	22

(7) 畜産	2 2
(8) 環境保全型農業実践者の状況	2 3

4 農林関係主要事業

(1) 農業振興地域整備計画	2 4
(2) 農業経営基盤強化促進対策事業	2 5
(3) 担い手育成・確保緊急対策事業	2 7
(4) 耕作放棄地解消事業	2 8
(5) 制度資金	2 8
(6) 農地中間管理事業	3 0
(7) がんばる農家支援事業	3 2
(8) 田んぼフル活用促進事業	3 3
(9) 多様な米づくり推進事業	3 5
(10) 環境と人にやさしい農業支援事業	3 5
(11) 環境保全型農業直接支払交付金事業	3 6
(12) 新潟市野菜安定供給対策事業	3 7
(13) 試験研究事業	3 8
(14) 6次産業化サポート事業	3 9
(15) 農産物高付加価値化推進事業	4 1
(16) 畜産振興事業	4 2
(17) 食と花の銘産品事業	4 3
(18) 食文化創造都市推進事業	4 5
(19) 食と花の世界フォーラムにいがた	4 6
(20) 地場産学校給食推進事業	4 7
(21) 国家戦略特区推進事業	4 9
(22) 1 2次産業化の推進	5 1
(23) 新潟発わくわく教育ファーム推進事業	5 2
(24) 食育の推進	5 3
(25) 花育の推進	5 4
(26) 食と花の交流推進事業	5 5
(27) 農村・都市交流の推進	5 5
(28) 保安林・里山	6 0
(29) 特用林産物の生産量	6 7
(30) 強い林業・木材産業づくり交付金事業	6 8
(31) 食肉センター	6 9

5 各区における独自の取り組み

(1) 北区	7 1
(2) 東区・中央区・江南区	7 2
(3) 秋葉区	7 3

(4) 南区	7 5
(5) 西区	7 6
(6) 西蒲区	7 7

第4章 新潟市の農業農村整備

1 農業農村整備の概要	
(1) 農地	7 9
(2) 土地改良区	7 9
2 農業生産基盤整備の現況	
(1) ほ場整備	8 0
(2) 排水施設整備	8 0
(3) 平成 28 年度農業基盤整備事業の実績	8 1
3 農村環境整備の現況	
(1) 農村環境改善センター	8 3
(2) 地域研修センター	8 4
(3) 平成 28 年度農村環境整備の実績	8 4
(4) 多面的機能の維持発揮	8 5

第5章 新潟市の水産業

1 概要	8 6
2 海面漁業	
(1) 地方（産地）市場に直接水揚される地場物の取扱高	8 6
(2) 海面（沿岸）漁業の現況	8 6
(3) つくり育てる漁業	8 7
3 内水面漁業	
(1) 内水面漁業の現況	8 7
(2) つくり育てる漁業	8 8
4 水産施設	
(1) 漁港整備の状況	8 9
(2) 漁港図	9 0
(3) 新潟港内主要水産施設	9 3
5 水産物流通図	9 4

第6章 中央卸売市場

1 中央卸売市場の役割	9 5
2 当市場の概要	9 5
3 流通のしくみ	9 7
4 平成 28 年市場取扱状況	9 8

第7章 農業活性化研究センター

1	設置目的	100
2	施設の概要	100
3	事業内容	
(1)	試験研究事業	101
(2)	6次産業化サポート事業	101
(3)	農産物高付加価値化推進事業	101

第8章 食育・花育センター

1	設置目的	102
2	施設の概要	102
3	事業内容	
(1)	新潟発わくわく教育ファーム推進事業	103
(2)	食育の推進	104
(3)	花育の推進	104
(4)	食と花による交流の推進	105
(5)	農村・都市交流の推進	105

第9章 食と花の交流センター

1	設置目的	106
2	施設の概要	106
3	事業内容	
(1)	花とみどりの展示事業	107
(2)	食と花のプロモーション事業	107

第10章 アグリパーク

1	設置目的	108
2	施設の概要	108
3	事業内容	
(1)	教育ファーム	109
(2)	就農支援事業	109
(3)	食品加工支援事業	109

第11章 農業委員会

1	農業委員会の沿革	110
2	所管区域	110
3	委員会の構成（実数）	110
4	部会（任意部会）委員構成	110
5	農業委員会の事業概要	
(1)	農地の移動・転用	111

(2) 農業経営基盤強化促進事業	114
(3) 農地中間管理事業	115
(4) 耕作放棄地の現状	116

第12章 資料

1 農林水産業関係機関・団体等	117
2 凡例	126

発行にあたって

新潟市の農林水産業は、特に個別に記載のない場合は、平成29年3月31日現在の内容を掲載しています。